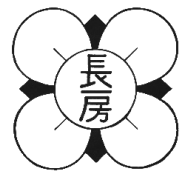


令和8年度
開校58年

学校要覧



長房小学校校歌

作詞 宮沢 章二
作曲 福井 文彦

- 1 みどりに染まる朝風が
ゆれて輝く丘の春
ひとりひとりの胸に咲く
望み明るい菜の花よ
多摩の御陵にかおる木も
伸びゆく夢を歌う友
- 2 なかよく学ぶ長房の
知恵の実りを告げる秋
共にやりぬき助け合い
愛のひかりを広げよう
つくる未来をえがく日は
高尾の鳥も高く飛ぶ



学びにおいて誰一人取り残さない長房小学校

言われてうれしい言葉をつかい、みんな仲良く助け合い、
学ぶ喜びを体得し、地域と共に歩む学校

めざす子ども像

- * よく考え、やりぬく子
- * じょうぶで、明るい子
- * なかよく、助けあう子



めざす学校像

- * 子どもが落ち着いて学べる学校
- * 子どもが安心して生活できる学校
- * 地域から親しまれ信頼される学校

☆ 平成23年度から、地域運営学校(コミュニティ・スクール)指定を八王子市教育委員会より受けました。学校運営協議会設置校15年目となります。

学校運営協議会 (学校運営に地域が参画)・・・「地域と共に歩む学校づくり」

【学校運営に係る協議事項】

- 学校に隣接する「長房ファーム」を活用した教育を行う。
- 地域行事の精選し、新たに地域が一体となる取組を進める。
- いのちを大切に教育を実践し、道徳授業地区公開講座の充実を図る。
- 小中一貫教育の充実を図る。

【教育活動に係る支援】

- 八王子市長房中学校区地域づくり推進協議会の5年間のアクションプランに協力をする。
- 夏休み算数教室を開催し補習を行い、既習内容の定着を支援する。
- 青少年対策長房地区委員会が主催する三校(長房中・長房小・船田小)交流会に協力し、各校教員及び保護者の代表が連携し、地域で子どもを育てる風土づくりを支援する。

八王子市立長房小学校

〒193-0824 八王子市長房町 340 番地4

電話 042-661-2081・042-666-7552(なのはな学級)・042-661-2085

(あさかぜ教室)FAX 042-667-5431 交通 JR 西八王子駅北口 バス長房団地・城山手行き 富士森高校前下車



◎学校の教育目標◎

本校は、開校2年目の昭和 45 年より、学校の教育目標を「よく考えやりぬく子、じょうぶで明るい子、なかよく助け合う子」と定めている。当時は、大規模団地が開発され、都内各地からの転入者が多く、考えや習慣が異なる児童が早く学校生活に慣れるよう、知徳体の調和のある児童の育成を通して、学校生活での「融和をはかる」ことを重視した。

この教育目標には、今の時代でも通じる大切な人間像が盛り込まれている。現代の社会は急速に変化が進み、多様性との調和が求められている。開校当初の本校が、融和をはかることを目指したように、様々な違いをお互いに認め合って、誰もが生きやすい社会を作っていかなければならない。今、本校で学んでいる児童が、将来の共生社会を実現する担い手となるよう、本校の教育目標に照らし合わせて、これからの時代を生きる児童に必要な力を育てていく。

【よく考え、やりぬく子】

(1) よく考えやりぬく子(習得・活用・探求、自己調整、学びに向かう力・人間性)

- ① 基礎的基本的な学習内容を身に付け、更に、学んだことを「知恵」として生活の中で主体的に使えるような確かな学力をもつ。
- ② 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動することで、よりよく問題解決を図る資質や能力を身に付ける。
- ③ 自らを振り返り、目標を設定して、学び方を身に付け、社会の中でよりよく生きようとする。



1人1台学習用端末の活用

【具体的な取組例】

- ・ 校内研究において「個別最適な学び」と「協働的な学び」を2本柱とした授業改善に取り組む。
- ・ 学習評価における児童1人1台の学習用端末を活用して、協働的・探究的な学習を確立する。
- ・ 朝読書等、読書を日常的に行う読書生活を構築し、読むこと的能力を身に付けさせる。

【じょうぶで、明るい子】

(2) じょうぶで明るい子(健康と体力等への意識向上、人権尊重の精神)

- ① 健康とは身体と心が元気な状態であることを理解し、その維持の仕方が自ら分かり、自ら健康でいることができる。
- ② 生命や人権を尊重する自他の健康を大切にする。
- ③ 生涯に渡り運動に親しもうとする資質能力をもつ。



異学年交流学習・体力テスト

【具体的な取組例】

- ・ 体育集会活動の充実や外遊び等を奨励し、運動の楽しさや喜びを味わわせることで運動習慣を促す。
- ・ 体力・運動能力・生活運動習慣等調査の結果を生かし、課題を把握して、体育科の授業改善に取り組む。
- ・ 学校医等の専門家の知識を活用して、健康や命の大切さについての意識を高める。

【なかよく、助けあう子】

(3) なかよく助け合う子(地域社会との連携・協働を通じた人間性、共生社会の担い手)

- ① やさしい心を持ち、自他を大切にして、誰かを助けたり、人の役に立ったりすることを幸せと感じる。
- ② 地域の人々に触れることで、郷土愛や自分の将来に夢を膨らませることができる。
- ③ 多様性を理解・共感し、互いの違いを認め合いながら生きる。



焼き芋大会

【具体的な取組例】

- ・ 特別支援学級と通常学級との交流及び共同学習によって、一体感の醸成や人と関わる力を伸ばす。
- ・ 地域人材と連携して、学校農園(長房ファーム)の活用やキャリア教育を進め、地域とともに児童を育てる。
- ・ 保護者・子ども・地域・学校が一体となって「いじめをしない、させない学校」にするための取組を推進する。

【その他】

- ① 保・幼・中・高との円滑な接続を図る。
- ② 地域運営学校として、持続可能な教育活動の充実を図る。
- ③ 保護者や地域社会との連携・協働の実践に努める。
- ④ 積極的に情報を発信することで、地域・保護者との連携をさらに強め、協働して子どもを育てる。



◎学校の概要◎

船田遺跡で知られるこの地域は、古代には集落のあった所である。開校前は、菜の花畑が広がるのどかな田園地帯であった。その地域に市営・都営の団地ができ、大変貌を遂げた。人口約2万人の街が広い道路を挟んで拓け、近隣に新しく住宅が建ち、児童数は1529名36学級になったこともある。その後徐々に児童数は減少し、令和8年4月現在は171名である。

子どもたちは、人なつこく素直である。子ども一人ひとりがもち味を伸ばし、希望と意欲に満ちた明るい学校づくりを推進している。

地域の方々は、郷土や学校への愛着を強くもっており、子どもの成長に寄せる期待も大きい。本校をよく理解し、協力を惜しまないことから、平成23年度に地域運営学校としての活動がスタートした。また父母と先生の会を中心に保護者同士の相互扶助や、児童の健全育成を図るボランティア活動も行われている。授業終了後は、市のシルバー人材センターが地域ボランティアを活用して運営する「放課後子ども教室すまいる」が展開され、本校校庭を活用して、たくさん子どもたちが参加し、見守られながら、元気に遊んでいる。また、地域の方との共同作業による農園の「長房ファーム」は、子どもたちの栽培学習にも役立てられ、収穫された野菜は給食や児童会の活動にも生かされている。

小中一貫教育長房中学校グループ(長房中・長房小・船田小)の連携を土台に地域の絆を強め、学校・家庭・地域で子どもたちを育てる環境作りを進めている。

小中一貫教育 長房中学校グループの目標

義務教育修了後「社会の中でよりよく生きようとする人」の育成をめざし、次の3つの児童像を目標とし、一層の連携を図る。

- 学習を大切にする子
- 自他を大切にする子
- 体を動かすことを大切にする子

◎学校の沿革◎

- S43.12 建設工事着工(鴻池組)
- 44. 7 八王子市立長房小学校設置
- 44. 8 初代校長、教職員発令、横山第二小学校で開設準備開始
- 44. 9 開校式 学級数 16 児童数 391 名
- 44.11 校舎落成式(開校記念日)
- 45. 9 プール・付属建物完成
- 46. 7 正門前歩道橋完成
- 46.12 校章制定(菜の花デザイン)
- 47. 3 校旗制定
- 47. 3 体育館完成
- 47. 8 小プール完成
- 48.10 校歌制定
- 49. 3 船田小開校に伴うお別れ式
- 49.12 父母と先生の会設立総会
- 57. 3 飼育小屋新設
- 60. 7 岩石園工事完成
- 62. 4 特別支援学級なのはな開設
- H 1. 3 防災備蓄倉庫設置
- 1. 4 日本語学級開設(~13.3.31)
- 2.11 野草園完成
- 13.12 学校110番通報装置設置
- 19. 1 八王子市教育委員会研究協力校 研究発表会
- 19. 4 八王子市教育委員会指定:小・中一貫教育モデル校
- 21. 4 文部科学省研究指定:外国語活動の実践研究
- 21.10 南校舎西側トイレ改修工事終
- 23. 4 地域運営学校(コミュニティスクール)指定
市民より市教育委員会を通して第 13 第寄贈を受ける
- 23.10 北校舎耐震工事完了
- 24. 4 大妻女子大社会情報学部理学博士、及び情報工学博士との共同教材開発(英語・算数)
- 24. 8 長房小ファーム開始、南校舎耐震工事完了
- 25. 2 長房小地域運営学校市研究発表
- 25. 4 日光市足尾和太鼓「銅」から和太鼓寄贈を受ける
- 25. 8 2013 PC Conference 算数
「動的視覚化による新しい教育法」学会発表
- 26. 5 校庭放送設備修繕、校庭砂場木柵取替修繕
- 26. 7 校庭一部芝生化
- 27. 9 書画カメラ及びプロジェクタの配備
- 28.12 減速ロードランプ工事
- 29. 4 校務支援システム導入
- 30.11 開校 50 周年記念式典を実施
- R 3. 2 児童 1 人1台学習用端末配備
- 3. 4 特別支援教室『あさかぜ』開設
- 4. 4 八王子市教育委員会指定
創価大学連携事業 AL+GIGA 推進校
- 5. 4 創価大学連携事業 AL+GIGA 推進校継続
- 6. 4 創価大学連携事業 AL+GIGA 推進校継続
- 6. 4 長房学童保育所校内へ移転
- 7. 3 体育館エアコン設置

【教職員一覧及び児童数(令和8年4月1日現在)】

校長 1名 副校長 1名

担当	担任数	男	女	計
1-1	1名	12	5	17
2-1	1名	15	10	25
3-1	1名	15	10	25
4-1	1名	15	7	22
5-1	1名	13	14	27
6-1	1名	10	10	20
特別支援学級 なのはな学級	6名	25	10	35
児童総数		105	66	171

音楽	1名	S	C	1名	
図工	1名	都	事務	1名	
算数少人数	1名	S	S	S	1名
養護	1名	都巡回	心理士	1名	
特別支援教室	5名	学校司書		1名	
あさかぜ		保健師		2名	
特別支援専門員	1名	市	事務	1名	
時間講師	6名	市	栄養士	1名	
学年補佐	1名	給食調理		3名	
指導補助	2名	用務主事		2名	
学校サポーター	3名	施設開放員		1名	

【1年間の学校生活の予定】

◎避難訓練(月1回) ◎安全指導日(月1回)

◎小中一貫教育の日(年3回) ◎読書週間(年3回)

1 学期

- ・入学式・始業式・遠足(3年/4年)・家庭訪問(1年)
- ・交通安全教室(1年)・生活科交流会(1年/2年)
- ・全国学力学習状況調査・運動会・集団下校訓練
- ・体調テスト・道徳授業地区公開講座・学校公開
- ・学校説明会・自転車安全教室(3年)・プール開き
- ・川の学習(4年/なのはな学級)・日光移動教室(6年)
- ・長房中学校訪問(6年)・租税教室・保護者会
- ・個人面談・不審者対応訓練・着衣泳・終業式
- ・なのはな学級郊外宿泊学習(なのはな学級4年)
- ・夏休み算数教室

2 学期

- ・始業式・引き渡し訓練・交流給食・生活科見学(2年)
- ・サイエンスドーム見学(4年)・社会科見学(3年/4年)
- ・学校公開・三校交流会・起震車体験・セーフティ教室
- ・高遠移動教室(5年)・薬物乱用防止教室(6年)
- ・遠足(1年/2年)・長房中学校合唱コンクール見学(6年)
- ・学習発表会・保護者会・八王子市学力調査(4~6年)
- ・長房中学校部活体験(5/6年)・終業式

3 学期

- ・始業式・書初め展・学校公開・幼小交流
- ・小中一貫教育の日・新1年生保護者会(2月5日)
- ・CS昔遊び(1年/2年)・社会科見学(6年)
- ・6年生を送る会・卒業式・修了式

【歴代校長】

初代 鈴木 武三 (昭44.8.1~)	8代 川上 卓一 (平 9.4.1~)
2代 田野倉 進 (昭47.4.1~)	9代 小泉 正三 (平 13.4.1~)
3代 清水 敬子 (昭51.4.1~)	10代 伊藤 善博 (平 17.4.1~)
4代 西山 静雄 (昭57.4.1~)	11代 植竹 利之 (平 24.4.1~)
5代 山北 主夫 (昭62.4.1~)	12代 平賀 克明 (平 28.4.1~)
6代 中島 久夫 (平 2.4.1~)	13代 川村 和人 (令 3.4.1~)
7代 松永美貴子 (平 5.4.1~)	14代 橋本 潮 (令 8.4.1~)



【生活時程】

登校	8:15 ~ 8:25	清掃指導	12:55 ~ 13:15
朝会	8:25 ~ 8:40	昼休み	13:15 ~ 13:30
健康観察	8:40 ~ 8:45	5校時	13:35 ~ 14:20
1校時	8:45 ~ 9:30	6校時	14:25 ~ 15:10
2校時	9:35 ~ 10:20	5校時(木)	13:15 ~ 14:00
中休み	10:20 ~ 10:35	6校時(木)	14:05 ~ 14:50
3校時	10:40 ~ 11:25	下校時刻 *金曜日は5校時授業	
4校時	11:30 ~ 12:15	・月 15:30 ・水 14:25 ・木 14:55	
給食指導	12:15 ~ 12:55	・火 15:30(クラブ)/15:15(委員会)	